

(1) 令和7年度申請からの変更点 (交付申請)

(書き方見本p6、p15)

- 補助事業等計画書及び利用案内書のうち、留意事項の記載例【通所型】を利用者が安全面で留意すべき点に関する文章に修正

利用にあつての留意点←

- ・トイレの入り口が一段高くなっています。←
- ・活動場所が2階のため、階段をのぼる必要があります。←

2. 活動の概要について	
地区	<input type="checkbox"/> 豊平 <input type="checkbox"/> 稲葉 <input type="checkbox"/> 大沢 <input type="checkbox"/> 城山 <input type="checkbox"/> 沖久井 <input type="checkbox"/> 相模原 <input type="checkbox"/> 豊野 <input type="checkbox"/> 中央区 <input type="checkbox"/> 小山 <input type="checkbox"/> 富野 <input type="checkbox"/> 旗山 <input checked="" type="checkbox"/> 中央 <input type="checkbox"/> 星が丘 <input type="checkbox"/> 元が丘 <input type="checkbox"/> 大野北第1 <input type="checkbox"/> 大野北第2 <input type="checkbox"/> 田名 <input type="checkbox"/> 上野 <input type="checkbox"/> 南区 <input type="checkbox"/> 大野中 <input type="checkbox"/> 大沢 <input type="checkbox"/> 大野台 <input type="checkbox"/> 大野南 <input type="checkbox"/> 上野岡 <input type="checkbox"/> 原裏 <input type="checkbox"/> 新堀 <input type="checkbox"/> 相模台第1 <input type="checkbox"/> 相模台第2 <input type="checkbox"/> 新沢台 <input type="checkbox"/> 車林第1 <input type="checkbox"/> 車林第2
活動区域	富士見の丁目からOの丁目
活動の目的	軽体操と茶話会を行う通いの場として地域の高齢者の方が外に出る機会をつくり、介護予防の活動を行うと共に、地域のつながりを大切にした交流を図るための場を提供する。
② 活動の内容 (メニュー等)	<input type="checkbox"/> いちい体育会体験 <input checked="" type="checkbox"/> 軽体操 (30分) 主な内容: (ストレッチ体操)
③ 利用にあつての留意点	茶話会、脳トレ、レクリエーションゲーム、手工芸等 ・トイレの入り口が一段高くなっています。 ・活動場所が2階のため、階段をのぼる必要があります。

(2) 交付申請で必要な書類 **(書き方見本p3)**

①補助金等交付申請書

→補助金交付を受けるための申請書

②補助事業等計画書

**→補助金団体の基本情報、活動内容、活動日、定員
など具体的な情報を記載する計画書**

(2) 交付申請で必要な書類

③収支予算書

→活動を安定的・継続的に運営できる収支が計画されているかを確認する書類

②の内容に基づき作成

④補助金等概要調書

→交付する補助金の概要、使途、趣旨、根拠などを記載する書類

団体名と実施時期以外は全団体共通の文言

(2) 交付申請で必要な書類

- ⑤補助対象団体の会則【任意様式】
→団体の運営や活動の基本となるルールを
事前に定める

- ⑥役員名簿及び従事スタッフ名簿
→名前とともに役職や修了証の番号を記載

(2) 交付申請で必要な書類

⑦利用案内書

→利用者向けの案内書

地域包括支援センターから利用者へ団体を案内するときや、地域包括支援センターと利用者との3者の顔合わせなどで使用

Q 私の団体はどのくらいのお金を申請できるの？

**A 補助事業等計画書をもとに、
収支予算書の「収入の部」を作成することで
申請できる金額がわかります！**

収支予算書さえ作成できれば、申請書類は怖くない！

収支予算書の書き方-通所型

3. 活動の運営について					
今年度活動期間	<input type="checkbox"/> 12か月間 (4月1日～3月31日)		<input checked="" type="checkbox"/> 6か月間 (10月1日～3月31日)		
年間	24	回 (月	2	回)	送迎 (※)
	第2, 4水曜日		送迎 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	午前10時から12時まで		送迎利用者数(年間回数)		
			3 人 24 回		
従事スタッフ数	参加者数		利用者の最大		
5 人 (うち研修受講済 5 人)	14 人 (うち利用者 4 人)		a利用者数		
利用者負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	100	円/回	実費分 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	50	円/回
実費分「有」の場合の内容		<input type="checkbox"/> 飲食代 <input checked="" type="checkbox"/> 材料費 <input type="checkbox"/> その他			
主な活動場所					
<input type="checkbox"/> 無償会場 <input checked="" type="checkbox"/> 有償会場 <input type="checkbox"/> 空家等活用					
会場経費		有償会場費	1,000	円/月	備考
		空家等活用費			会場費は一括で支払います。

e 従事
スタッフ人数

b活動回数

c送迎利用者数
d送迎回数

STEP 1

補助事業等計画書の
a~gを確認

a利用者数

f利用者負担金

g実費分

収支予算書の書き方-通所型

1 収入の部									
活動基本費	② 基本費		30,000 円		年額	30,000 円			
	③ 有償会場費	1回	1,000 円	×	24 回	= 年額	24,000 円		
	④ 空室等活用費	月額		円	×	月	= 年額	円	
⑤ 活動費加算	基本額(1~3人)		1,000 円	×		回	= 年額	円	
	基本額 + 加算額	4~6人			24	回		36,000 円	
		7~9人				回		円	
		10~12人				回		円	
⑥ 送迎加算	基本額(1~3人)		500 円	×	24	回	= 年額	12,000 円	
	基本額 + 加算額	4~6人				回		円	
		7~9人				回		円	
		10~12人				回		円	
⑦ 奨励金			4,800 円	×				円	
	f利用者負担金		5,000 円	×	5			25,000 円	
		計(市補助金)						127,000 円	
利用料金	利用者負担金	回	100 円	×	24 回	×	4 人	= 年額	9,600 円
	実費分	回	50 円	×	24 回	×	4 人	= 年額	4,800 円
⑧ その他収入								円	
		g実費分					a利用者数		14,400 円
		計(市補助金以外)							14,400 円
		収入合計					b活動回数		141,400 円

STEP2
STEP1の確認内容をもとに、
左記のとおり記入

💡 補助事業等計画書を横に置きながら書いてみましょう

収支予算書の書き方-訪問型

想定活動回数	利用者1人当たり		団体の1か月当たり (想定利用者数×利用者1回あたりの回数)		活動日/活動時間			
ごみ出し	(a) 4	回/月	(a×c) 12	回/月	利用者のごみ収集に応じて実施 毎週水曜日または金曜日/午後1時から午後5時までの間			
買物、その他	(b) 4	回/月	(b×d) 16	回/月				
想定利用者数	ごみ出し		買物、その他		車両の使用(※1)	送迎利用者数	2	人/年
	(c) 3	人/月	(d) 4	人/月	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	送迎回数の合計	(e) 8	回/月

STEP 1
補助事業等計画書の
a~iを確認

利用者負担金	ごみ出し (月)	① 週2回まで	(f) 100	円	買物、その他 (回)	① 買物	(h) 200	円
		② 週3回以上	(g) 200	円		② 散歩	(i) 100	円
実費分	ごみ出し (月)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		円	買物、その他 (回)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		円


収支予算書の書き方-訪問型

1 収入の部		(年間実施月数 12 か月)			
② 活動基本費	基本費(4月申請)	30,000 円	(上限30,000円とし、必要額)	年額	30,000 円
	基本費(10月申請)		(上限15,000円とし、必要額)	年額	円
	食費料(月)	月	$a \times c$ ×	12 か月 = 年額	240,000 円
③ 活動費加算	ごみ出し	1回	$b \times d$ ×	12 回/月 × 12 か月 = 年額	14,400 円
	④ 買物、その他	1回	$b \times d$ ×	16 回/月 × 12 か月 = 年額	57,600 円
	買物同行時の車両による送迎加算	1回	e ×	8 回/月 × 12 か月 = 年額	48,000 円
奨励金	《概算》	①1か月あたりのごみ出し回数	12 回/月 × 12 × 100 円 =	14400	
		②1か月あたりの買利物価回数	16 回/月 × 12 × 100 円 =	19200	
		③1か月あたりの送迎回数	8 回/月 × 12 × 100 円 =	9600	
		④養成研修を受講した従事スタッフ人数	5 人 × 上限3000 円 =	25000	
		※①+②+③+④を比較し小さい値が奨励金 → 年額			25000 円
小計(市補助金)					415,000 円
⑤ 利用料金	ごみ出し	利用者負担金の	f ×	2 人/月 × 12 か月 = 年額	400 円
		利用者負担金の	g ×	1 人/月 × 12 か月 = 年額	400 円
		実費分	円 ×	人/月 × 12 か月 = 年額	円
	買物、その他	利用者負担金の	h ×	8 回/月 × 12 か月 = 年額	19,200 円
		利用者負担金の	i ×	8 回/月 × 12 か月 = 年額	9,600 円
その他	実費分	円 ×	回/月 × 12 か月 = 年額	円	
小計(市補助金以外)					33,600 円
収入合計					448,600 円

STEP2

STEP1の確認内容をもとに、
左記のとおり記入

💡 補助事業等計画書を横に置きながら書いてみましょう

 5月及び11月に概算払を希望する団体は、
以下の書類も必要となります

- ①補助金等交付請求書（概算払用）
→補助金の交付請求をする書類
- ②請求額内訳書
→①の金額の内訳を記載
- ③補助金等交付決定通知書の写し
→市からの通知（提出は不要）
- ④【該当団体のみ】変更決定通知書の写し